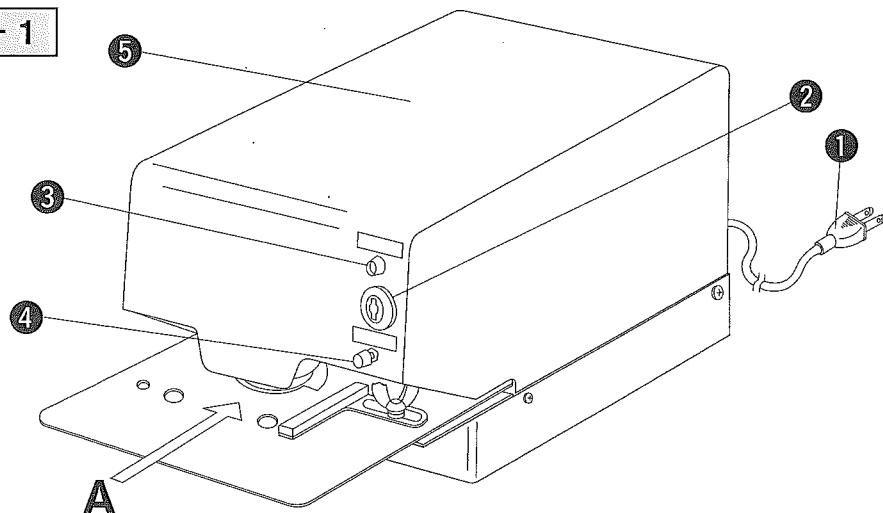
卓上型電動シールプレス
取扱説明書

★ご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みください、お読みになった後は、大切に保管してください。〈機能向上のため、予告なく仕様変更することがあります。〉

図－1

付　属　品　等	
ドライバー	×1
スパナ	×1
L型レンチ（3㎜）	×1
L型レンチ（4㎜）	×1
キー	×2
取扱説明書	×1

■ ご使用に際しては下記の順序で操作してください。（図－1・図－2参照）

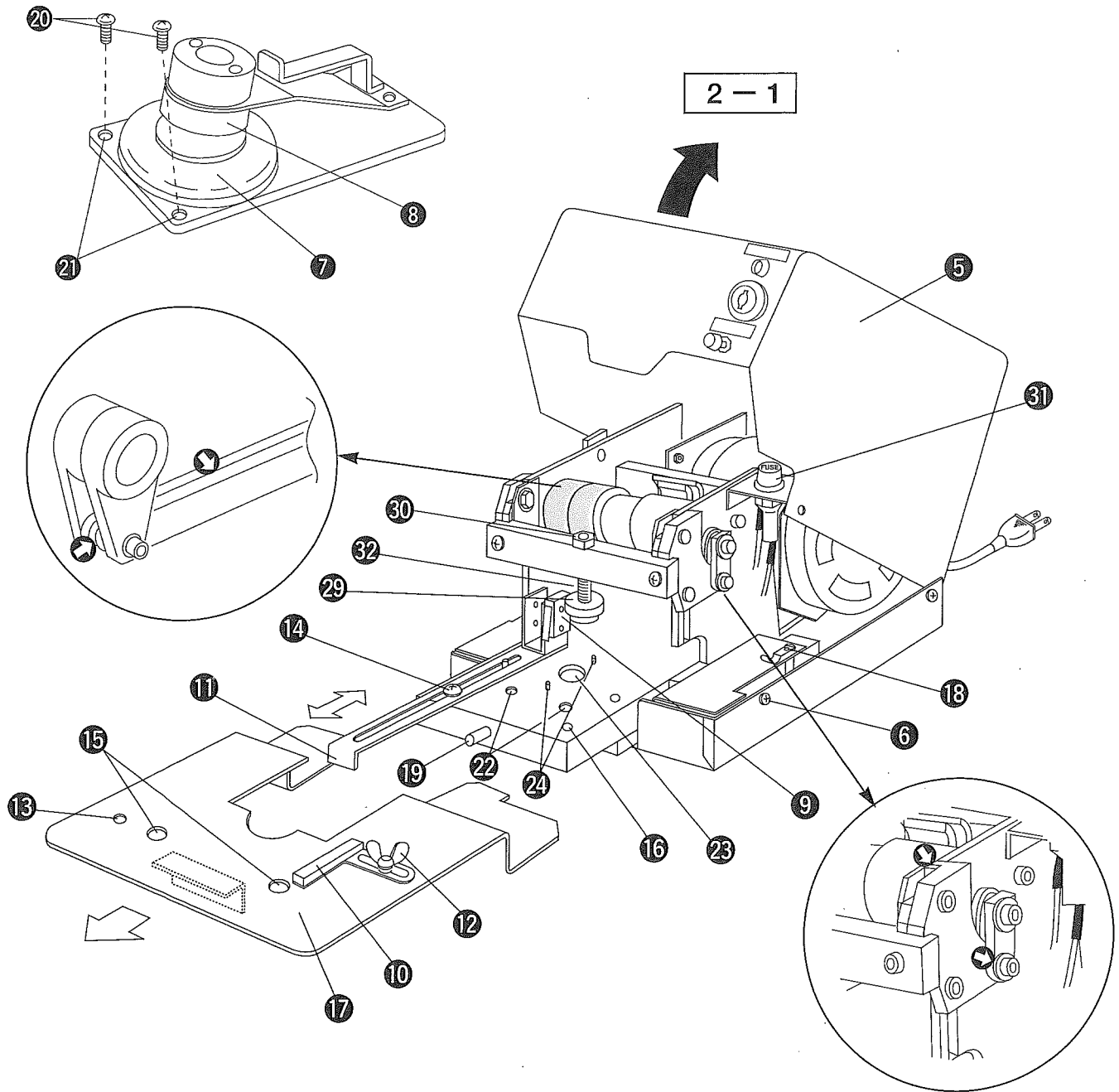
1. 電源プラグ❶は確実に電源コンセントに差し込んでください。
2. キーをキースイッチ❷に差し込み、右へ回すと電源がONとなり電源ランプ③が点灯します。これでプレス操作ができる状態です。
3. 間隙－Aの箇所に、プレスする用紙を差し込んでください。
4. マイクロスイッチ❾に、用紙が突き当たるとプレス動作を行います。

◎ 使用する用紙の大きさ、プレス位置または用紙が薄いためマイクロスイッチを押せない場合は、作動ボタン❹で操作してください。
◎ プレス位置を変更したい場合、項目〔1〕のプレス用紙の位置決め及び項目〔3〕のプレスする印面の向きを変更を参照してください。
◎ 上記の操作で作動しないときは、項目〔6〕の保守点検・メンテナンスを参照してください。
◎ 用紙が印面ブロックにはさまって抜けない場合は、項目〔4〕の機械のロックについてを参照してください。
◎ 印影が薄い場合、またはプレスによって用紙が切れてしまう場合は項目〔5〕の印圧調整方法を参照してください。

■《ご使用上の注意》

⚠	Aの用紙挿入口に、手を絶対入れないでください。
⚠	当機を移動の際は、底の部分に手を添えて持ち運びください。

☆ 傾いたり不安定な場所に置かないでください。
☆ 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。
☆ 湿気の多いところに置かないでください。
☆ ベンジンやシンナーなどでカバーを拭かないでください。
☆ 本機は、指定された用紙専用のプレス機械です。クリップ・ステプラー・プラスチック、金属製または木製のもの・皮製品などのプレスはしないでください。

■ 部品名称図

［1］プレス用紙の位置決め (図－2参照)

※常時同じ位置にプレスされる場合は、サイドゲージ⑩・奥行ゲージ（MSゲージ）⑪を調整してください。

① 横方向は蝶ネジ⑫を緩め、サイドゲージで位置を調整してください。
(左側で位置を決めたい場合は、取付穴⑬をご利用ください。)

② 奥行きは、マイクロスイッチ⑨が用紙の突き当てになります。テーブル⑰左側にある調整用穴⑮から調整ネジ⑭を緩め、奥行きゲージを前後に動かして奥行きを決めて、調整ネジを締めて固定してください。
(マイクロスイッチを右側にセットしたい場合は、電源をＯＦＦにし、テーブル及び印面ブロックを外し奥行ゲージのマイクロスイッチ取付位置を右側から左側に付け替えます。次に奥行ゲージを調整ネジで取付穴⑯に締め付け、印面ブロック、テーブルを元に戻してご使用ください。印面ブロックの取り外し及び取付方法は項目［2］を参照してください。)

［２］印面ブロック（図－２－２）取り外しと取付方法

※ 安全のために、必ずキースイッチを左に回して電源をＯＦＦにして、コンセントから電源プラグを抜いて行ってください。

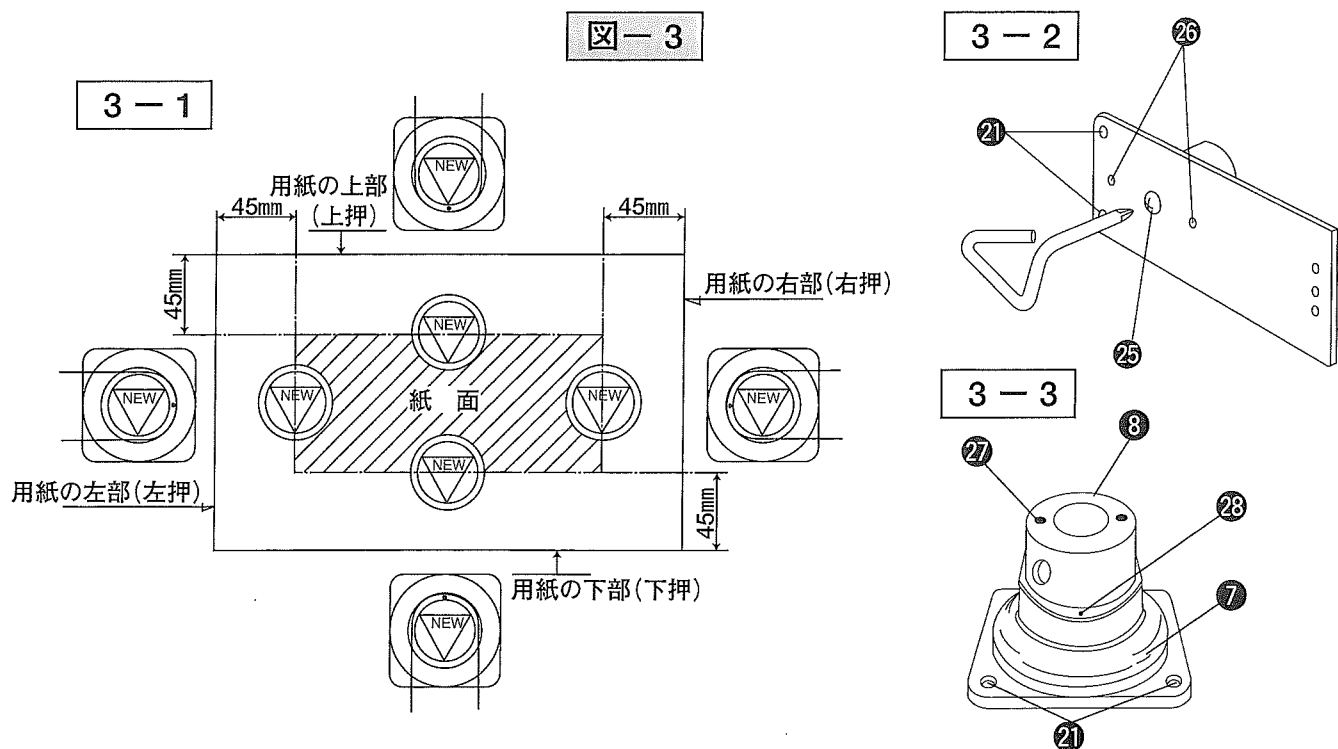
★ 取り外し方法（図－２参照）

① 主カバー固定ネジ❻を外して主カバー❺を矢印（➡）の方向に止まるまで開けてください。
② テーブル⓱を、矢印（⇨）の方向に引いて取り外してください。
③ 印面ブロックを止めている取付ネジ⓴（２個）を緩め、外してください。
④ 印面ブロック全体を、上部へ少し持ち上げながら矢印（⇨）の方向に引き出してください。

★ 取付方法（図－２・図－３－２参照）

① 印面ブロックを元の位置に戻すときに、印面ブロック裏側の印面オス固定ネジ㉕を印面ブロックセット用穴㉓に、印面ブロックセットピン㉔をセットピン用穴㉖にしっかりと入れてください。
（印面ブロックが正確にセットされていないで作動しますと、破損することがあります。）
② 印面ブロックを取付ネジで印面ブロック取付穴㉒にしっかりと締め付けてください。
③ テーブルを両サイドにあるキャッチバネ⓲とテーブル補強ピン⓳に差し込んで主カバーを閉めてください。

［３］プレスする印面の向きを変更したい場合（図－２、図－３参照）

※ 用紙の入る奥行きは最高で印面の中心より45㎜となっています。
プレスする位置によって以下の手順にて、印面の向きを変更してください。

① 印面ブロックを本体から取り外します。
項目［２］の★取り外し方法を参照してください。
② 印面方向固定ネジ㉗（２個）を付属のＬ型レンチ（３㎜）で緩めます。
次に、変更したい位置に印面メス❽の上下左右の文字を回転させ、インジケーター㉘に合わせて印面方向固定ネジを締め付けてください。
③ 印面ブロック裏側の印面オス固定ネジ㉕を外さずに緩めてください。
④ 印面オス❼を回転させ、インジケーターに上下左右の文字を合わせます。印面メスを印面オスに軽く押し下げて、凹凸がピッタリ合ったところでしっかり押さえて印面オス固定ネジを締め付けます。

印面オス・メスがずれたままプレスしますと、印面オスが破損しますので注意してください。

⑤ 印面ブロックを元の位置に取り付けて主カバーを閉めてください。
項目［２］の★取付方法を参照してください。）

［４］機械のロックについて（図－２・図－３参照）

本機は、ご注文の際にお客様よりご指定のあった用紙で、印圧の調整をしてあります。
ご指定された用紙以外のものをプレスする時は、印圧の調整が必要です。
特に、ご指定されたものより厚い用紙をプレスするときは、必ず印圧の調整を行ってください。
印圧の調整を行わずに、厚い用紙をプレスすると、用紙が本機にはさまり取れなくなります。
この状態をロックしたと言います。
ロック状態になってしまったときは、無理に用紙を引き出さずに●ロックの解除方法を参照してください。

●ロックの解除方法

※ 主カバーを開けるときは、キースイッチを左に回し電源をＯＦＦにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 主カバー固定ネジ❻（２個）を外して、(➡) 方向に主カバー❺を開けてください。
2. 付属のスパナでプレスキャップ固定ナット㉚を緩めてください。
3. 付属のＬ型レンチ（４㎜）で印圧調整ネジ㉜を緩めプレスキャップ㉙が上がるまで回してください。
4. 用紙を取り出し、一度主カバーを閉めてください。
5. 電源プラグ❶をコンセントに差し込み、キースイッチ❷を右に回して電源をＯＮにしてください。
6. プレスキャップをスタート位置に戻すため、作動ボタン❹を一度だけ押します。
7. 項目［５］の印圧調整方法を参照してください。

※ 手順2のプレスキャップ固定ナット又は手順3の印圧調整ネジが緩まない場合は無理に行わずに、お買い求めになった販売店にご相談ください。

［５］印圧調整方法

1. 電源プラグ❶をコンセントに差し込み、キースイッチ❷を右に回して電源をＯＮにしてください。
2. 印圧が弱いときは、主カバー固定ネジ❻（２個）を外し、主カバー❺を開けてプレスキャップ固定ナット㉚を付属のスパナで緩め、印圧調整ネジ㉜を付属のＬ型レンチ（４㎜）で右に少しずつ回し、強いときは左に回してプレスするテスト用紙を間隙－Ａに挿入して、テスト作動をして浮き出し具合を見ながら印圧の調整をしてください。
3. 印圧調整が終了したら、プレスキャップ固定ナットを締めてください。
4. 主カバーを一度閉め、テスト作動をして印圧を確認した後、主カバー固定ネジで締めてください。

※ テスト作動をするときは、主カバーを閉めて操作してください。開いていると作動しません。

［６］保守点検・メンテナンス

1. 長期間ご使用いただきますと、機械内部にホコリが付着します。作動もスムーズさがなくなりますので、できるだけきれいにホコリを拭き取り、矢印（➲）の作動部分に流れ出さない程度に潤滑油を給油してください。
2. 電源ランプ❸が点灯しないときは、次の点をお調べください。

★ 電源プラグ❶が完全にコンセントに差し込まれているか。
★ ヒューズが切れていないか。
　ヒューズホルダー㉛のキャップを開けると、ヒューズが取り出せます。
　ヒューズが切れていましたら、７Ａの市販品とお取り替えください。

3. 長時間ご使用になりますと、温度上昇によりモーターの安全スイッチが働き電源がＯＦＦとなりますので、キースイッチ❷をＯＦＦにして30分以上時間をおいてからご使用ください。
4. 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

修理・その他ご不明な点については、お買い求めになった販売店にご連絡ください。